

# 2006年3月期決算 決算短信添付資料 (2006年3月期 決算説明会資料)



## 当資料取扱上の注意点

### 将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし事実または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます(なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

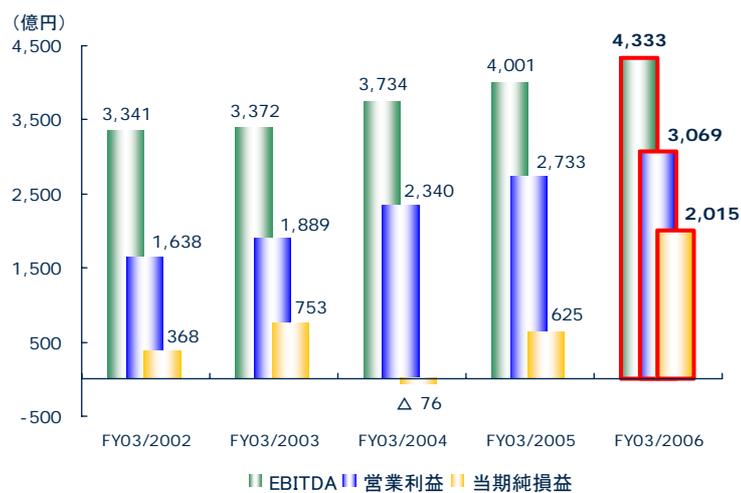
## 2006年3月期実績

MEET  
YOUR  
DELIGHT JT

### 2006年3月期決算

#### ■ 業績ハイライト

- ◆ EBITDA、営業利益は4期連続の最高益、当期純利益も最高益を大幅に更新



## 2006年3月期決算(事業セグメント別)

### 国内たばこ事業

- ◆ マールポロライセンス契約終了に伴う利益減を収益基盤の強化により克服し、増益を確保



(単位: 億円)

	2005年3月期 実績	2006年3月期 実績	増減
売上高(税抜)	12,038	11,732	△ 305
EBITDA	2,960	3,057	97
営業利益	2,158	2,200	42

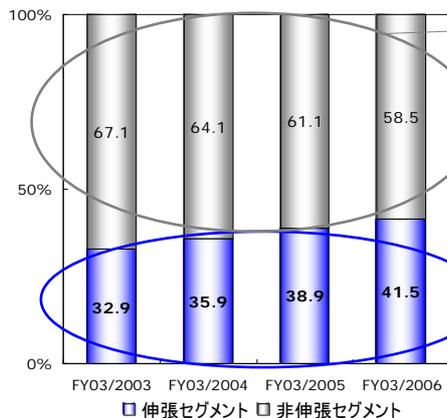
5



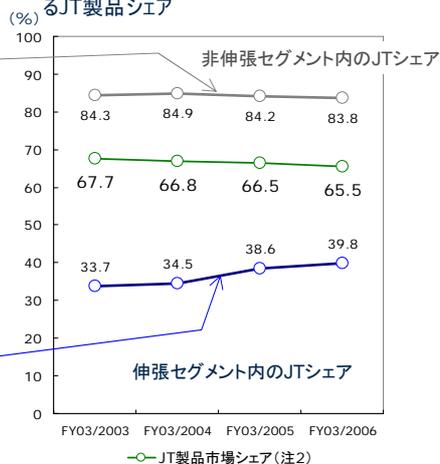
## 2006年3月期決算(事業セグメント別)

### 国内たばこ事業

- ◆ 総需要における伸張セグメント(注1)と非伸張セグメントの構成



- ◆ 伸張セグメントおよび非伸張セグメント内におけるJT製品シェア



(注1): 伸張セグメント: タール1mg製品、メンソール製品、プレミアム(300円以上)製品

(注2): 新ベース=JTオリジナルブランド+JT1の国内向け製品(キャメル、ウインストン、セーラム等)

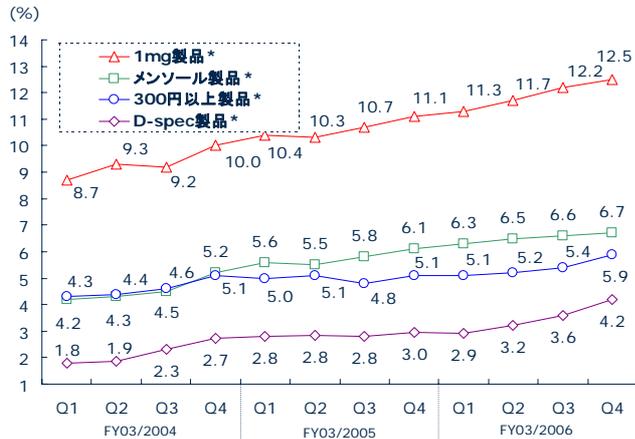
6



## 2006年3月期決算(事業セグメント別)

### 国内たばこ事業

- ◆ 総需要が前年度比2.5%減少する中、伸張セグメントにおけるJT製品シェアは着実に伸張



\*新ベース=JTオリジナルブランド + JTIの国内向け製品(キャメル・ウイinston・セーラム等)



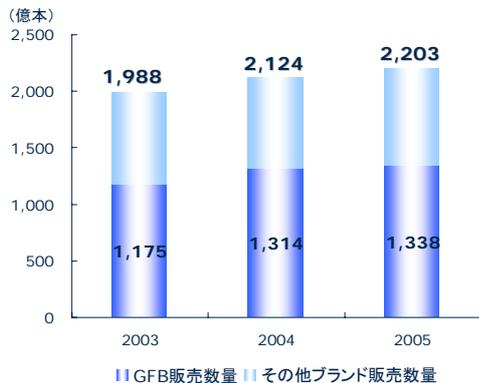
7

MEET YOUR DELIGHT JT

## 2006年3月期決算(事業セグメント別)

### 海外たばこ事業

- ◆ GFBを中心とするブランド・ポートフォリオ全体の販売数量の増加、単価・製品ミックスの改善等により、引き続き好調を維持し、増収・増益
- 海外たばこ事業実績は2005年1-12月期を連結



	2005年3月期実績	2006年3月期実績	増減
売上高(税抜)	4,297	4,843	545
EBITDA	654	940	286
営業利益	444	710	265

(参考)

	JTへのロイヤリティ支払い前 (単位:百万ドル)	
EBITDA	741	975

	連結為替レート (単位:円)	
1USDドル=	108.23	110.26

8

MEET YOUR DELIGHT JT

## 2006年3月期決算(事業セグメント別)

### ■ 医薬事業

- ◆ JTK-303の導出に伴う一時金収入があったものの、05年3月期にJTT-705の導出に伴う一時金収入を計上していたことにより、今期は減益

(単位: 億円)

	2005年3月期 実績	2006年3月期 実績	増減
売上高	576	492	△ 84
EBITDA	54	△ 18	△ 72
営業利益	18	△ 50	△ 69

### ■ 食品事業

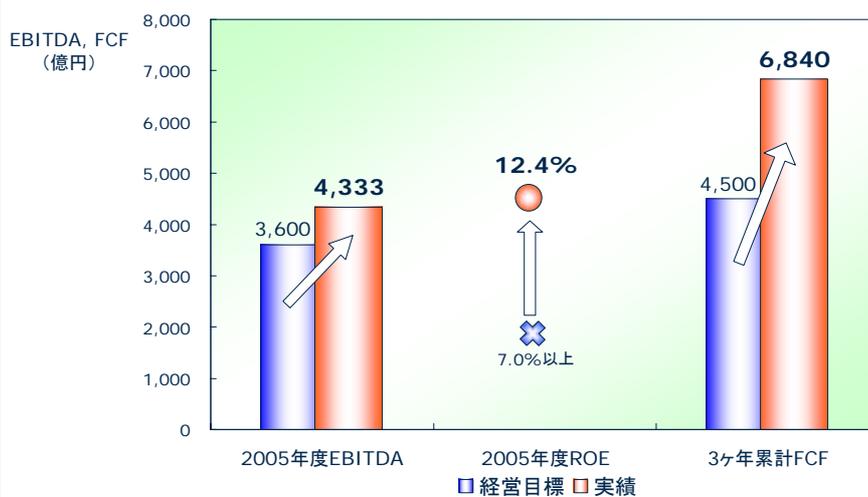
- ◆ 営業黒字を着実に拡大

(単位: 億円)

	2005年3月期 実績	2006年3月期 実績	増減
売上高	2,653	2,783	129
EBITDA	79	118	39
営業利益	19	63	43

## 中期経営計画「JT PLAN-V」(2003年度～2005年度)の総括

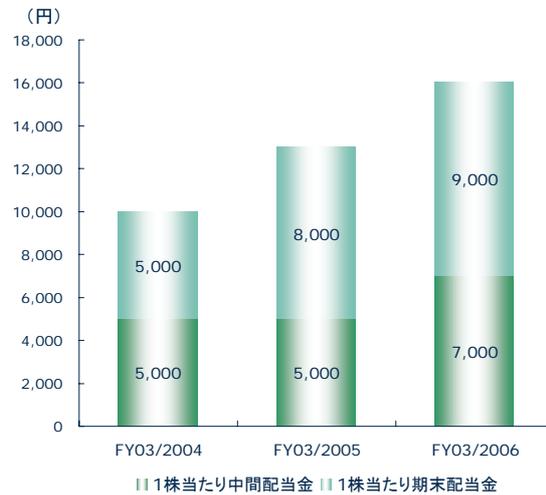
### ■ 経営目標を全て達成



## 配当について

### ■ 2006年3月期の期末配当: 1株当たり9,000円

- ◆ 中間配当と合わせ1株当たり16,000円



## 2007年3月期 業績予想

## 2007年3月期業績予想

### 国内たばこ事業

- ◆ ブランド・ポートフォリオの強化
  - 4月よりセブンスター・レボ・ウルトラライト・メンソール・ボックスを全国拡販
  - 「マイルドセブン」ファミリーのボックス製品5銘柄を新デザインに刷新



### 海外たばこ事業

- ◆ 2006年1-3月期実績も計画に沿って順調に進捗
  - 一時的な増加要因を除けば、総販売数量は対前年同期比約9%の成長(年間計画と同水準)

### 医薬事業

- ◆ 研究開発の推進
  - JTT-551(糖尿病治療薬)が新たに臨床入り
  - 導出先であるギリアド・サイエンス社においてJTK-303(抗HIV薬)がPh IIへ移行
  - グラクソ・スミスクライン社に前臨床試験段階にある化合物を導出



### 食品事業

- ◆ 冷凍食品における差別性の高い商品の開発・投入
- ◆ 天然調味料の拡販
- ◆ 自動販売機販路の着実な伸張と「Roots」ブランドの継続育成

13

MEET YOUR DELIGHT JT

## 2007年3月期業績予想(事業セグメント別)

### 国内たばこ事業

(単位:億円)

	2006年3月期 実績	2007年3月期 見込	増減
売上高(税込)	34,052	33,900	△ 152
EBITDA	3,057	2,790	△ 267
営業利益	2,200	1,910	△ 290

【主な前提条件】

(単位:億本)

JT製品販売数量	1,894	1,780	△ 114
----------	-------	-------	-------

※7月の増税に伴う定価改定は全銘柄1本1円(単価価格転嫁)を前提

### 海外たばこ事業

(単位:億円)

	2006年3月期 実績	2007年3月期 見込	増減
売上高(税込)	8,811	10,300	1,488
EBITDA	940	1,070	129
営業利益	710	760	49

【主な前提条件】

(単位:億本)

総販売数量	2,203	2,380	177
GFB販売数量	1,338	1,470	132

※2007年3月期の連結為替レート:1USドル=115.00円

### 医薬事業

(単位:億円)

	2006年3月期 実績	2007年3月期 見込	増減
売上高	492	455	△ 37
EBITDA	△ 18	△ 80	△ 61
営業利益	△ 50	△ 110	△ 59

### 食品事業

(単位:億円)

	2006年3月期 実績	2007年3月期 見込	増減
売上高	2,783	2,860	76
EBITDA	118	120	1
営業利益	63	70	6

14

MEET YOUR DELIGHT JT

## 2007年3月期業績予想

### ■ 売上高

- ◆ 海外たばこ事業の成長、食品事業の規模拡大により増収

### ■ EBITDA・営業利益

- ◆ 海外たばこ事業が利益規模を拡大するも、国内たばこ事業・医薬事業での利益減により減益

(単位:億円)

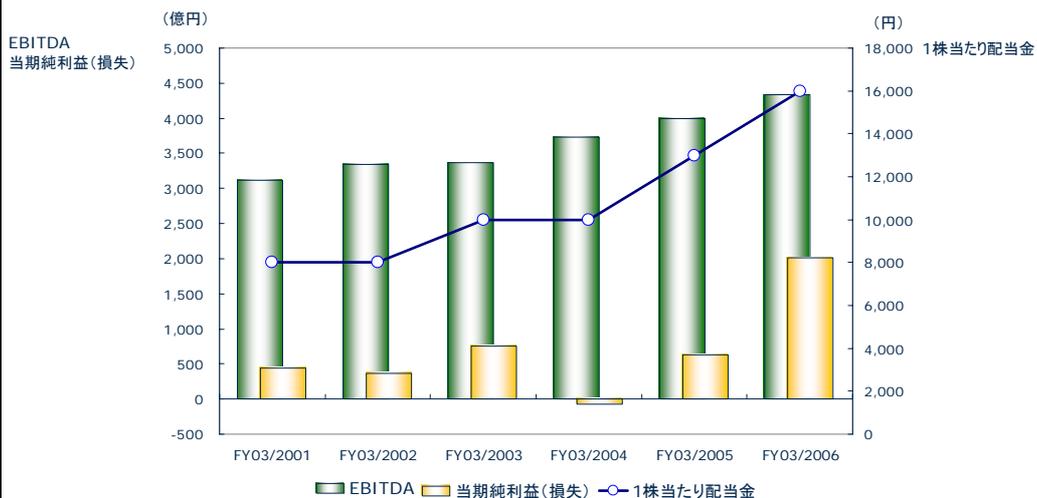
	2006年3月期 実績	2007年3月期 見込	増減
売上高	46,376	47,700	1,323
EBITDA	4,333	4,090	△ 243
営業利益	3,069	2,700	△ 369
経常利益	2,978	2,670	△ 308
当期純利益	2,015	1,790	△ 225
ROE(%)	12.4	9.7	△ 2.7
FCF	1,455	3,250	1,794

(単位:円)

1株当たり配当金*	16,000	3,600	-
-----------	--------	-------	---

※2006年4月1日付をもって1株につき5株の割合で株式分割を実施

## 2001年3月期～2006年3月期

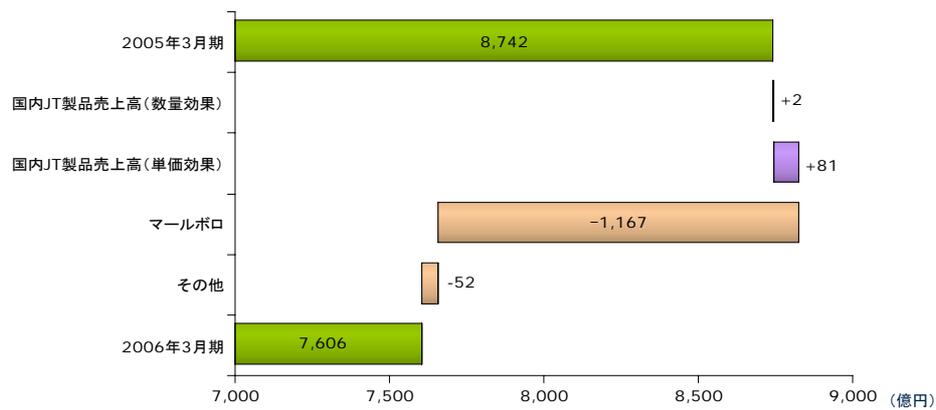


**【参考資料】**  
**2006年3月期実績及び2007年3月期業績**  
**予想における増減要因の分析**



**2006年3月期実績**

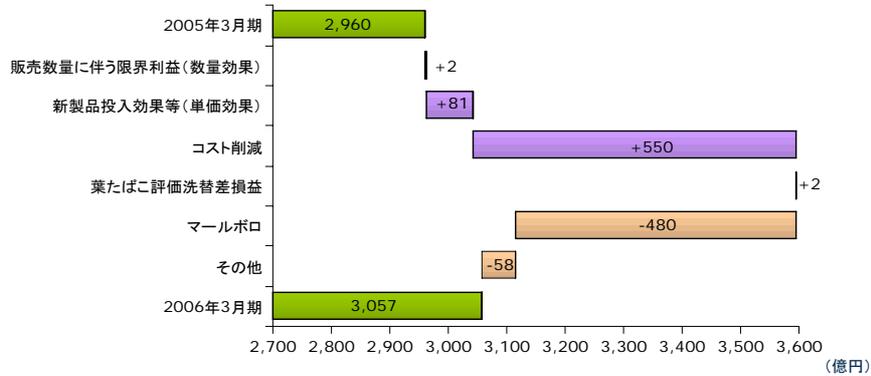
■ 国内たばこ事業税抜売上高(注) 8,742億円→7,606億円(1,136億円減)  
 ◆ (注)輸入たばこを除く



■ 国内たばこ事業税抜売上高 12,038億円→11,732億円(305億円減)

## 2006年3月期実績

■ 国内たばこ事業EBITDA 2,960億円→3,057億円(97億円増)



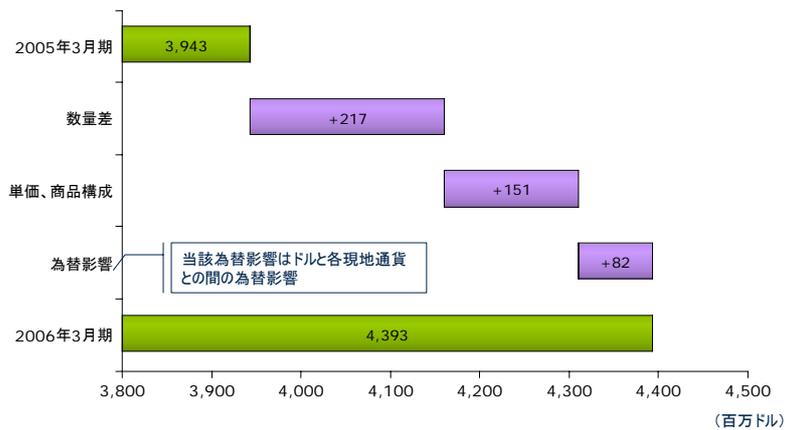
■ 国内たばこ事業営業利益 2,158億円→2,200億円(42億円増)

◆ 減価償却費(注) 801億円→856億円(54億円増)

(注)減価償却費=有形固定資産償却費+無形固定資産償却費+長期前払費用償却費+連結調整勘定償却額

## 2006年3月期実績

■ 海外たばこ事業税抜売上高 3,943百万ドル→4,393百万ドル(450百万ドル増)



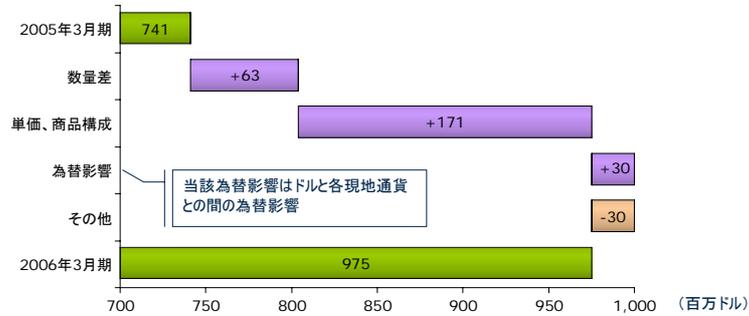
(参考) 海外たばこ事業税抜売上高 4,297億円→4,843億円(545億円増)

◆ 連結円ドルレート 108.23円→110.26円(2.03円安)

## 2006年3月期実績

■ 海外たばこ事業EBITDA(注1) 741百万ドル→975百万ドル(234百万ドル増)

◆ (注1)ロイヤリティ支払前



(参考)セグメント情報ベース

海外たばこ事業EBITDA 654億円→940億円(286億円増)

海外たばこ事業営業利益 444億円→710億円(265億円増)

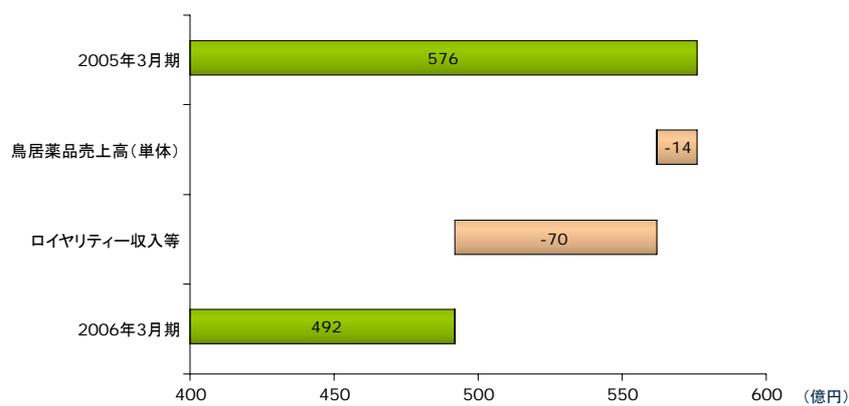
◆ 減価償却費(注2) 210億円→230億円(20億円増)

◆ 連結円ドルレート 108.23円→110.26円(2.03円安)

(注2)減価償却費=有形固定資産償却費+無形固定資産償却費+長期前払費用償却費+連結調整勘定償却額

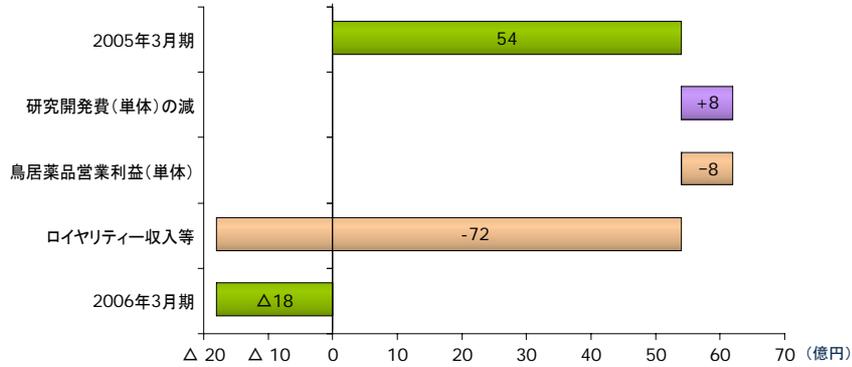
## 2006年3月期実績

■ 医薬事業売上高 576億円→492億円(84億円減)



## 2006年3月期実績

■ 医薬事業EBITDA 54億円→△18億円(72億円減)



■ 医薬事業営業利益 18億円→△50億円(69億円減)

◆ 減価償却費(注) 36億円→32億円(3億円減)

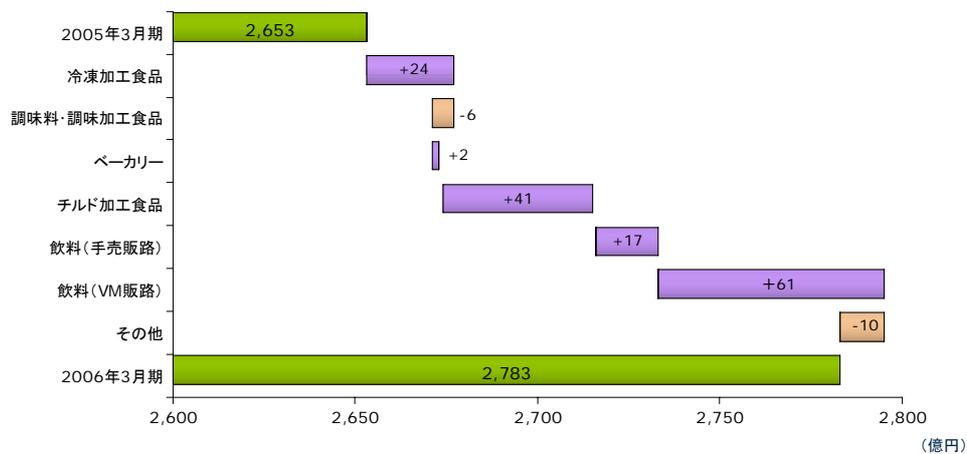
(注)減価償却費=有形固定資産償却費+無形固定資産償却費+長期前払費用償却費+連結調整勘定償却額

23

MEET  
YOUR  
DELIGHT JT

## 2006年3月期実績

■ 食品事業売上高 2,653億円→2,783億円(129億円増)

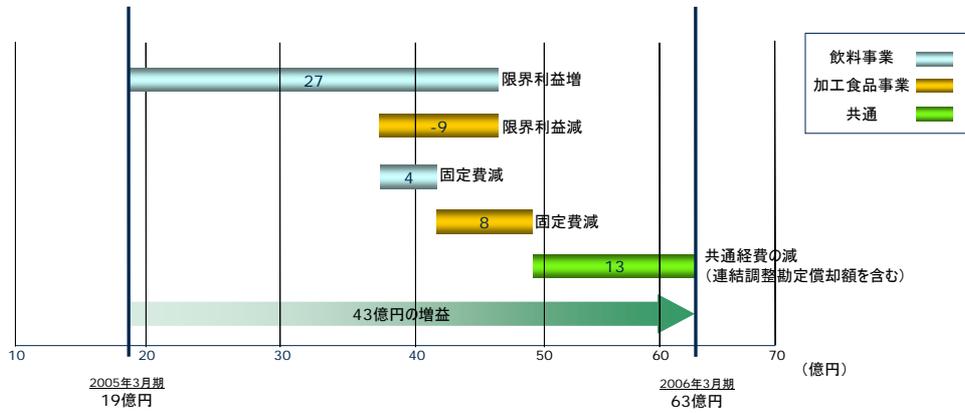


24

MEET  
YOUR  
DELIGHT JT

## 2006年3月期実績

■ 食品事業営業利益 19億円→63億円(43億円増)



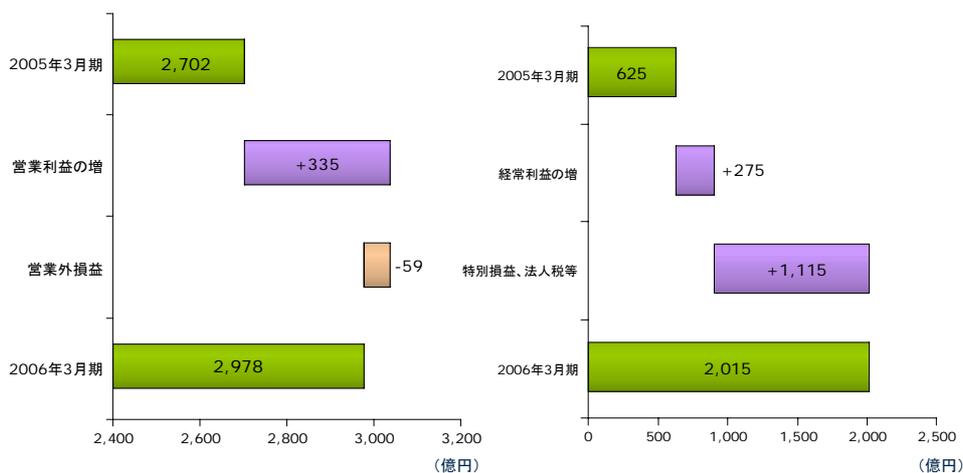
■ 食品事業EBITDA 79億円→118億円(39億円増)

◆ 営業利益増(43億円)、うち減価償却費(注)の影響(△4億円)

(注)減価償却費=有形固定資産償却費+無形固定資産償却費+長期前払費用償却費+連結調整勘定償却額

## 2006年3月期実績

■ 経常利益 2,702億円→2,978億円(276億円増) ■ 当期純利益 625億円→2,015億円(1,389億円増)



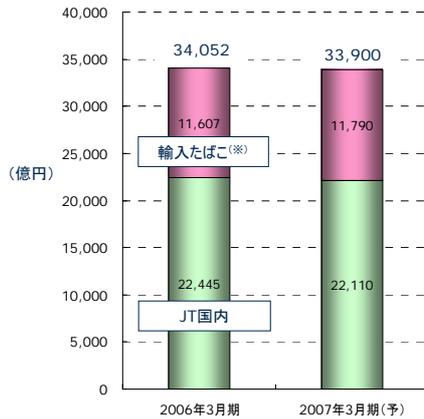
## 2007年3月期業績予想\_対前年度実績

■ 国内たばこ事業売上高(注) 22,445億円→22,110億円(335億円減)

◆ (注) 輸入たばこを除く

■ 国内たばこ事業売上高 34,052億円→33,900億円(152億円減)

※連結決算上、国内たばこ事業売上高には、子会社であるTSネットワーク(株)が取り扱う輸入たばこ製品の売上高を含んでいる。



### 【主な増加要因】

- ・輸入たばこの増 11,607億円→11,790億円(+182億円)
- ・増税に伴う定価改定によるJT製品の税込単価増

### 【主な減少要因】

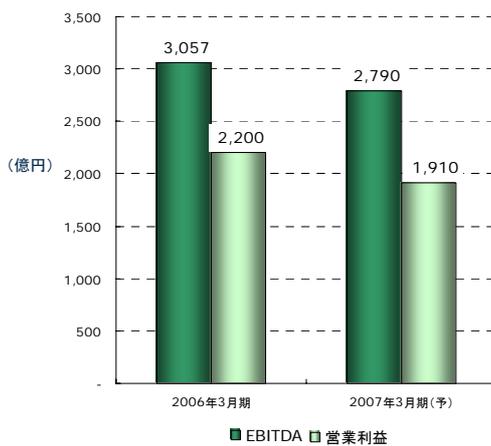
- ・マールポロ販売数量の減(△33億本)
- ・JT販売数量の減(△81億本)
- (1,894億本 → 1,780億本 △114億本)

27

MEET  
YOUR  
DELIGHT JT

## 2007年3月期業績予想\_対前年度実績

■ 国内たばこ事業EBITDA 3,057億円→2,790億円(267億円減)



### 【主な増加要因】

- ・人件費の減 +約90億円 等

### 【主な減少要因】

- ・マールポロ販売数量の減(△33億本) △約65億円
- ・JT販売数量の減(△81億本) △約240億円 等

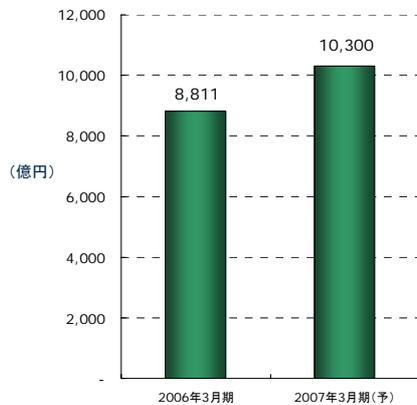
■ 国内たばこ事業営業利益 2,200億円→1,910億円(290億円減)

28

MEET  
YOUR  
DELIGHT JT

## 2007年3月期業績予想\_対前年度実績

■ 海外たばこ事業売上高 8,811億円→10,300億円(1,488億円増)



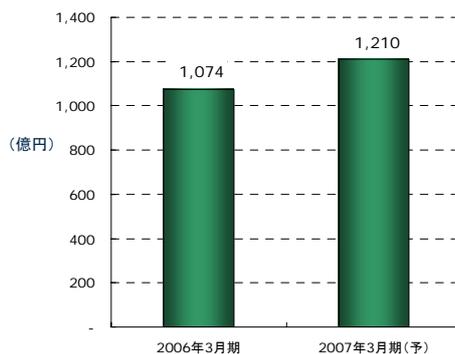
【主な増加要因】  
成熟・新興双方市場でのバランスの取れた成長

(参考) 連結円ドルレート 110.26円→115円(4.74円安)

## 2007年3月期業績予想\_対前年度実績

■ 海外たばこ事業EBITDA(注) 1,074億円→1,210億円(135億円増)

◆ (注)ロイヤリティ支払前



【主な増加要因】  
・GFBへの注力とブランド・ポートフォリオの拡充によるトップライン成長  
・コスト削減

(参考)セグメント情報ベース

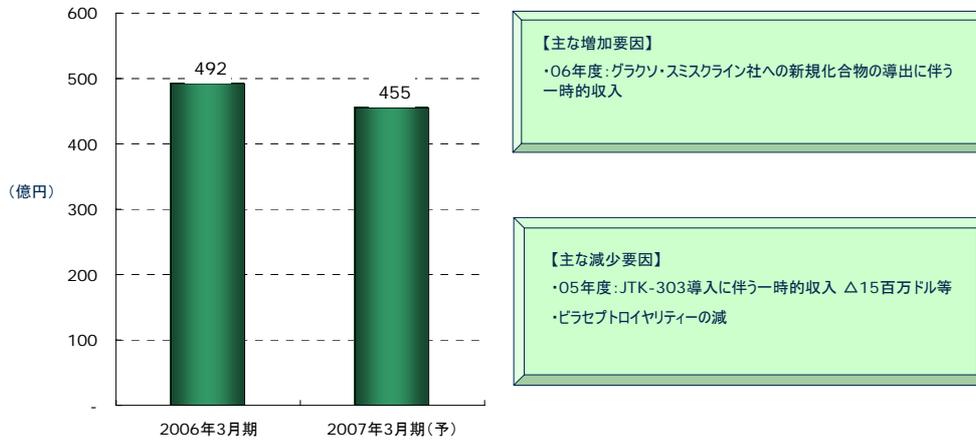
海外たばこ事業EBITDA 940億円→1,070億円(129億円増)

海外たばこ事業営業利益 710億円→760億円(49億円増)

◆ 連結円ドルレート 110.26円→115円(4.74円安)

## 2007年3月期業績予想\_\_対前年度実績

■ 医薬事業売上高 492億円→455億円(37億円減)



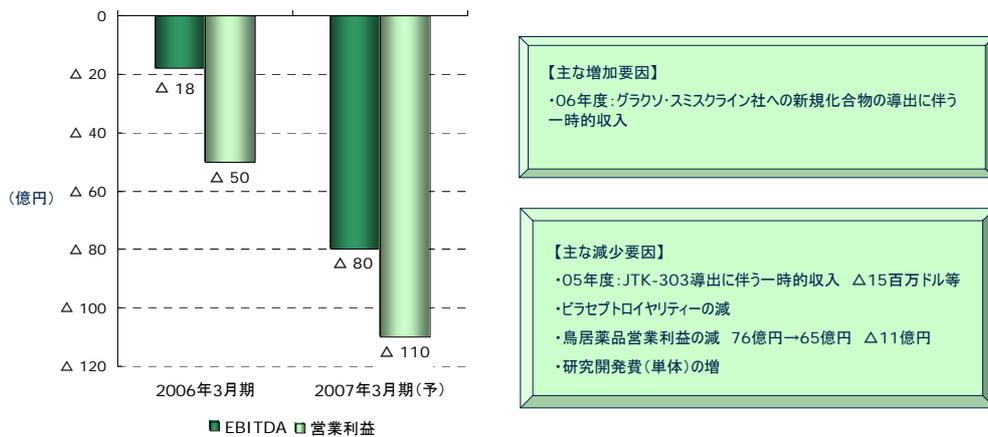
31

MEET YOUR DELIGHT JT

## 2007年3月期業績予想\_\_対前年度実績

■ 医薬事業EBITDA △18億円→△80億円(61億円減)

■ 医薬事業営業利益 △50億円→△110億円(59億円減)

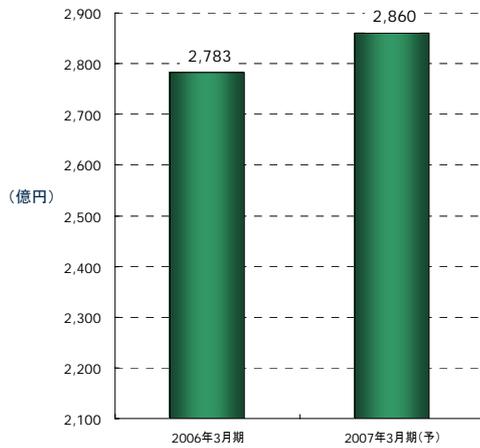


32

MEET YOUR DELIGHT JT

## 2007年3月期業績予想\_対前年度実績

■ 食品事業売上高 2,783億円→2,860億円(76億円増)



### 【主な増加要因】

- ・加工食品事業：冷凍加工食品における差別性ある商品の開発・投入、天然調味料の拡販
- ・飲料事業：自動販売機販路の着実な伸長

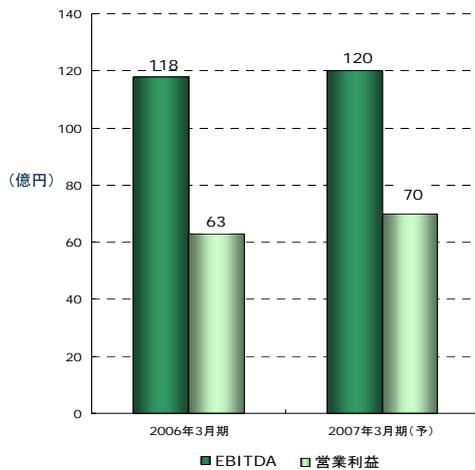
33

MEET  
YOUR  
DELIGHT JT

## 2007年3月期業績予想\_対前年度実績

■ 食品事業EBITDA 118億円→120億円(1億円増)

■ 食品事業営業利益 63億円→70億円(6億円増)



### 【主な増加要因】

- ・冷凍加工食品およびチルド加工食品の利益増
- ・飲料事業における自動販売機販路の伸長による利益増
- ・事業全般にわたる経費の効率的な執行の推進

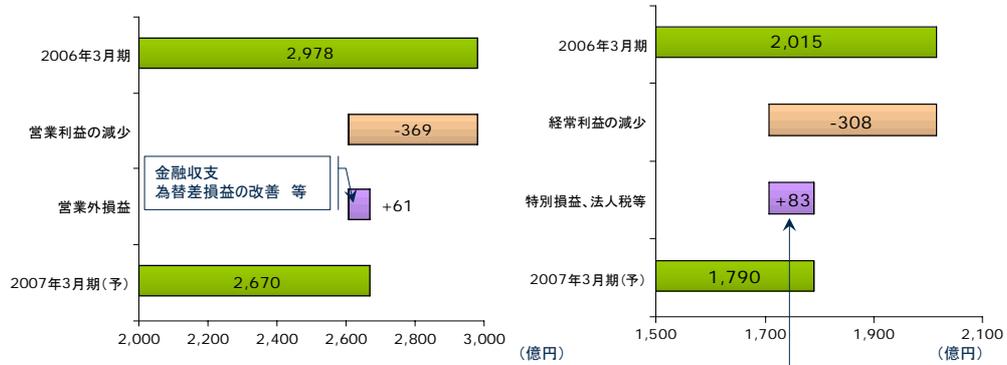
34

MEET  
YOUR  
DELIGHT JT

## 2007年3月期業績予想\_対前年度実績

■ **経常利益** 2,978億円→2,670億円(308億円減)

■ **当期純利益** 2,015億円→1,790億円(225億円減)



**改善要因:** 06年3月期:船橋旧物流拠点の売却に伴う損失 +約200億円  
 06年3月期:減損損失 +114億円  
 事業構造強化費用の減  
 06年3月期:退職給付制度一部終了損 +30億円  
 06年3月期:PCB廃棄物の処理費用 +13億円 等

**悪化要因:** 固定資産売却益の減 等

2006年3月期 決算データ集

1. 売上高の内訳

(単位: 億円)

	05年3月期	06年3月期	増減
全社税込売上高	46,645	46,376	△ 268
国内たばこ事業	34,914	34,052	△ 862
除く輸入たばこ	25,439	22,445	△ 2,994
海外たばこ事業	7,927	8,811	884
全社税抜売上高(除く輸入たばこ)	16,844	15,961	△ 882
国内たばこ事業	8,742	7,606	△ 1,136
海外たばこ事業	4,297	4,843	545
医薬事業	576	492	△ 84
食品事業	2,653	2,783	129
飲料事業	1,774	1,853	78
加工食品事業	878	930	51
その他事業	572	235	△ 337

※海外たばこ事業は、1-12月期の実績

2. 葉たばこ評価洗替差損益(注)

(単位: 億円)

	05年3月期	06年3月期	増減
葉たばこ評価洗替差損益	98	95	△ 2

(注): マイナス表示の場合は評価益

3. 販売費及び一般管理費の内訳

(単位: 億円)

	05年3月期	06年3月期	増減
販売費及び一般管理費	6,774	5,966	△ 807
人件費(注1)	1,839	1,508	△ 331
広告宣伝費	274	239	△ 34
販売促進費	1,401	1,421	19
研究開発費	404	375	△ 29
減価償却費	542	534	△ 8
その他(注2)	2,310	1,887	△ 423

(注1): 人件費=報酬・給料手当+退職給付費用+法定福利費+従業員賞与+賞与引当金繰入額

なお、2006年3月期における人件費の中には、JT単体の取締役報酬259百万円、監査役報酬62百万円が含まれている。

(注2): その他の中にははマールポロライセンス契約に伴う特許権使用料などが含まれており、当該金額は、2006年3月期56億円、2005年3月期465億円。

4. 事業セグメント別EBITDA(注1)

(単位: 億円)

	05年3月期	06年3月期	増減
全社EBITDA	4,001	4,333	332
営業利益	2,733	3,069	335
減価償却費(注2)	1,267	1,264	△ 2
うち連結調整勘定償却額	8	15	7
国内たばこ事業EBITDA	2,960	3,057	97
営業利益	2,158	2,200	42
減価償却費(注2)	801	856	54
うち連結調整勘定償却額	△ 0	10	11
海外たばこ事業EBITDA	654	940	286
営業利益	444	710	265
減価償却費(注2)	210	230	20
医薬事業EBITDA	54	△ 18	△ 72
営業利益	18	△ 50	△ 69
減価償却費(注2)	36	32	△ 3
食品事業EBITDA	79	118	39
営業利益	19	63	43
減価償却費(注2)	59	55	△ 4
うち連結調整勘定償却額	8	5	△ 3
その他事業EBITDA	268	221	△ 46
営業利益	104	86	△ 17
減価償却費(注2)	163	134	△ 29
うち連結調整勘定償却額	0	-	△ 0

(参考) (単位: 百万ドル)

	05年3月期	06年3月期	増減
海外たばこ事業EBITDA(ロイヤリティ支払前)	741	975	234

(注1): EBITDA=営業利益+減価償却費(注2)

(注2): 減価償却費=有形固定資産、無形固定資産、長期前払費用及び連結調整勘定の償却費

※海外たばこ事業は、1-12月期の実績

5. 主要投資案件の諸償却費

(単位: 億円)

	05年3月期	06年3月期	償却年数	終了
JTインターナショナル	333	344	-	-
商標権(JT保有分)	293	293	10年	09年4月
特許権(JT保有分)	39	40	8年	07年4月
連結調整勘定(注)	-	10	20年	25年3月
ジャパンビハレツジ	8	2	5年	07年3月
連結調整勘定	8	2	5年	07年3月

(注): USGAAPにおける減損会計の導入により、2002年3月期をもって、JTインターナショナルにおける定期・定額の連結調整勘定償却は終了。以降は毎年、減損テストを行った上で、減損金額を決定している。  
なお、2005年度より、国内たばこ事業セグメントに割り当てた当該連結調整勘定の一部について、20年で償却を開始した。

6. 資本的支出

(単位: 億円)

	05年3月期	06年3月期	増減
資本的支出	851	989	138
国内たばこ事業	464	750	285
海外たばこ事業	187	249	62
医薬事業	31	21	△ 10
食品事業	73	45	△ 27
その他事業	106	193	86

7. 手元流動性(注)

(単位: 億円)

	05年3月末	06年3月末	増減
手元流動性	8,636	9,796	1,160

(注): 手元流動性=現預金+有価証券+CP現先

8. 有利子負債(注)

(単位: 億円)

	05年3月末	06年3月末	増減
有利子負債	2,307	2,166	△ 141

(注): 有利子負債=短期借入金+社債+長期借入金

9. 主な事業関連計数

【国内たばこ事業】	05年3月期	06年3月期	増減
JT販売数量(注)	2,132	1,894	△ 237
国内総需要	2,926	2,852	△ 74
JT販売数量シェア	72.9%	66.4%	△ 6.5%pt
JT千本当税込売上高	11,756	11,674	△ 82
JT千本当税抜売上高	3,941	3,864	△ 77

(注): JT販売数量には国内免税販売分及び中国事業部分を含まない。当該数量は、2006年3月期32億本、2005年3月期51億本。

【海外たばこ事業】	04年12月期	05年12月期	増減
販売数量	2,124	2,203	79
GFB販売数量	1,314	1,338	24
連結円ドルレート	108.23	110.26	2.03

【医薬事業】	05年3月期	06年3月期	増減
ピラセプトロイヤリティ収入	58	50	△ 8
研究開発費(単体)	201	193	△ 8

【食品事業-飲料事業】	05年3月末	06年3月末	増減
自動販売機台数(注)	226,000	237,000	11,000
うちマーケティング機	44,500	40,500	△ 4,000
うちコンビニ機	54,000	61,500	7,500

(注): 自動販売機台数には、関係会社が運営する他社機(缶・ブリック等)及びカップ機を含む。「マーケティング機」とは当社所有の自動販売機を指し、「コンビニ機」とは関係会社所有で他社の製品も取り扱いつながら、JT製品の露出を積極的に行う自動販売機を指す。

10. 従業員数(注)

(単位: 人)

	05年3月末	06年3月末	増減
従業員数(連結)	32,640	31,476	△ 1,164
国内たばこ事業	たばこ事業	11,795	n.a.
海外たばこ事業	24,350	11,943	n.a.
医薬事業	1,566	1,532	△ 34
食品事業	5,357	5,232	△ 125
その他事業	706	604	△ 102
全社共通業務	661	370	△ 291
従業員数(単体)	10,124	8,855	△ 1,269
在籍ベース従業員数(単体)	11,300	9,931	△ 1,369

※従業員数は就業人員ベース

## 2007年3月期連結業績予想(前期実績比較)

(単位:億円)

	06年3月期 実績	07年3月期 見込	増減
税込売上高	46,376	47,700	1,323
除く輸入たばこ	34,769	35,910	1,140
EBITDA	4,333	4,090	△ 243
営業利益	3,069	2,700	△ 369
経常利益	2,978	2,670	△ 308
当期純利益	2,015	1,790	△ 225
ROE(株主資本利益率)	12.4%	9.7%	△2.7%pt
フリーキャッシュフロー <sup>(注)</sup>	1,455	3,250	1,794

(注):フリーキャッシュフロー=(営業活動CF+投資活動CF)但し、以下の項目を除外する。

営業活動CFから

受取配当金/受取利息とその税影響額(42%)

支払利息とその税影響額(42%)

投資活動CFから

有価証券取得による支出/有価証券売却による収入

投資有価証券取得による支出/投資有価証券売却による収入/その他

上記の計算方式に従って計算したフリーキャッシュフローと表中のフリーキャッシュフローとの開差は投資有価証券の取得及び売却に含まれる事業投資株式によるもの。

(単位:億円)

	06年3月期 実績	07年3月期 見込	増減
資本的支出	989	1,240	250
国内たばこ事業	750	730	△ 20
海外たばこ事業	249	320	70
医薬事業	21	25	3
食品事業	45	50	4
その他事業	193	135	△ 58

## 事業セグメント別業績予想

(単位:億円)

	06年3月期 実績	07年3月期 見込	増減
税込売上高	46,376	47,700	1,323
国内たばこ事業	34,052	33,900	△ 152
除く輸入たばこ	22,445	22,110	△ 335
海外たばこ事業	8,811	10,300	1,488
医薬事業	492	455	△ 37
食品事業	2,783	2,860	76
EBITDA	4,333	4,090	△ 243
国内たばこ事業	3,057	2,790	△ 267
海外たばこ事業	940	1,070	129
医薬事業	△ 18	△ 80	△ 61
食品事業	118	120	1
営業利益	3,069	2,700	△ 369
国内たばこ事業	2,200	1,910	△ 290
海外たばこ事業	710	760	49
医薬事業	△ 50	△ 110	△ 59
食品事業	63	70	6

## 【参考】単体業績予想

(単位:億円)

	06年3月期 実績	07年3月期 見込	増減
税込売上高	23,706	23,400	△ 306
経常利益	1,928	1,560	△ 368
当期純利益	1,262	1,030	△ 232

(単位:円)

	06年3月期 実績	07年3月期 見込
1株当り年間配当金	16,000	3,600

※2006年4月1日を効力発生日として、1株につき5株の割合で株式分割を実施。

## 業績予想の主な前提条件

## 国内たばこ事業

(単位:億円)

	06年3月期 実績	07年3月期 見込	増減
販売数量	1,894	1,780	△ 114

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

## 海外たばこ事業

(単位:億円、円)

	05年12月期 実績	06年12月期 見込	増減
販売数量	2,203	2,380	177
GFB販売数量	1,338	1,470	132
1USDドル	110.26	115.00	4.74

## 【当資料取扱上の注意点】

## 将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし事実または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げる事ができます(なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

# 国内たばこ事業データ集

(注1): 表中の数値には中国、香港、マカオ市場および国内免税市場販売分は含まれておりません。

(注2): 従来ベース: JTオリジナルブランド + 2005年4月末までのマルポロ + 2005年5月以降のJT1の国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セラム等)  
 新ベース: JTオリジナルブランド + JT1の国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セラム等)

## 国内たばこ事業関連係数

### 1. 四半期別販売数量

(単位: 億本)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2003年度	656	470	564	492	2,183
2004年度	542	556	556	477	2,132
2005年度	505	485	481	422	1,894

(注): 上記の数値には、2005年4月末までのマルポロ販売数量及び2005年5月以降のJT1の国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セラム等)の販売数量を含みます。

### 2. 四半期別定価代金

(単位: 億円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2003年度	8,361	6,482	7,775	6,789	29,409
2004年度	7,480	7,670	7,675	6,589	29,416
2005年度	6,947	6,642	6,582	5,780	25,952

(注1): 販売定価代金 = 販売数量 × 小売定価

(注2): 上記の数値には、2005年4月末までのマルポロ販売数量及び2005年5月以降のJT1の国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セラム等)の販売数量を含みます。

### 3. 四半期別千本当売上高

(単位: 円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2003年度	10,856	11,732	11,746	11,759	11,478
2004年度	11,754	11,755	11,752	11,765	11,756
2005年度	11,715	11,653	11,657	11,667	11,674

(注): 本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。

千本当売上高 = (販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税) / 販売数量 × 1,000

### 4. 四半期別千本当税抜売上高

(単位: 円)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2003年度	3,850	3,923	3,934	3,943	3,908
2004年度	3,940	3,942	3,937	3,946	3,941
2005年度	3,901	3,845	3,849	3,857	3,864
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2003年度	3,758	3,825	3,840	3,845	3,813
2004年度	3,844	3,844	3,840	3,845	3,843
2005年度	3,845	3,846	3,849	3,857	3,849

(注1): 本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。

千本当税抜売上高 = { 販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税 - たばこ税(国税)

- たばこ税(地方税) - たばこ特別税(国税) } / 販売数量 × 1,000

### 5. 四半期別シェア

(単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2003年度	73.0	72.9	72.7	73.1	72.9
2004年度	73.0	73.0	72.7	72.7	72.9
2005年度	69.6	65.4	65.3	65.2	66.4
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2003年度	67.3	66.6	66.6	66.7	66.8
2004年度	66.7	66.6	66.4	66.1	66.5
2005年度	66.1	65.5	65.3	65.2	65.5

## 伸張セグメントシェア

### 1. 四半期別ターール1mgセグメントシェア

①JT タール1mg製品市場シェア

(単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2003年度	6.6	7.3	7.3	7.9	7.2
2004年度	8.3	8.2	8.6	8.9	8.5
2005年度	10.6	11.7	12.2	12.5	11.7
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2003年度	8.7	9.3	9.2	10.0	9.1
2004年度	10.4	10.3	10.7	11.1	10.6
2005年度	11.3	11.7	12.2	12.5	11.9

②セグメント内シェア

(単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期
2003年度	43.0	45.8	45.6	47.6
2004年度	47.5	46.9	47.3	47.5
2005年度	55.7	60.4	60.8	61.6
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期
2003年度	56.5	58.6	57.6	60.2
2004年度	59.6	58.6	59.0	59.4
2005年度	59.7	60.4	60.8	61.6

### 2. 四半期別メンソールセグメントシェア

①JT メンソール製品市場シェア

(単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2003年度	7.0	7.5	7.6	8.4	7.6
2004年度	8.6	8.6	9.0	9.3	8.9
2005年度	8.1	6.5	6.6	6.7	7.0
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2003年度	4.2	4.3	4.5	5.2	4.5
2004年度	5.6	5.5	5.8	6.1	5.7
2005年度	6.3	6.5	6.6	6.7	6.5

②セグメント内シェア

(単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期
2003年度	49.5	49.9	49.4	52.4
2004年度	51.7	51.1	52.0	52.5
2005年度	45.1	34.4	34.9	35.1
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期
2003年度	29.4	28.9	29.5	32.3
2004年度	33.2	32.4	33.8	34.4
2005年度	34.7	34.4	34.9	35.1

### 3. 四半期別300円以上製品セグメントシェア

①JT 300円以上製品市場シェア

(単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2003年度	10.5	11.1	11.2	11.8	11.1
2004年度	11.7	11.8	11.5	12.1	11.8
2005年度	8.8	5.1	5.4	5.9	6.3
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2003年度	4.3	4.4	4.6	5.1	4.5
2004年度	5.0	5.1	4.8	5.1	5.0
2005年度	5.1	5.2	5.4	5.9	5.4

②セグメント内シェア

(単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期
2003年度	51.1	52.5	52.8	54.2
2004年度	53.9	53.8	52.8	53.6
2005年度	39.1	22.2	23.1	24.5
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期
2003年度	21.2	20.8	21.5	23.2
2004年度	23.2	23.0	22.2	22.8
2005年度	22.6	22.3	23.2	24.5

### 4. 四半期別D-spec製品シェア

(単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2003年度	0.04	0.13	0.54	0.91	0.38
2004年度	0.91	0.95	0.90	0.94	0.93
2005年度	0.91	1.24	1.78	3.12	1.72
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2003年度	1.79	1.86	2.33	2.72	2.15
2004年度	2.81	2.83	2.82	2.96	2.85
2005年度	2.93	3.20	3.59	4.19	3.46

\* ピアニッシモ及びプレミアは2006年3月より、D-spec製品として販売しており、「新ベース」は上記銘柄を過去の実績に加え、算出したものです。

## 医薬事業 臨床開発品目 (2006年4月28日現在)

開発名	開発段階	適応症	作用機序	詳細	権利
JTT-705 (経口)	国内：Phase1	脂質代謝異常	CETP (コレステリルエステル転送蛋白) 阻害	HDL (高密度リポ蛋白：善玉コレステロール) 中のコレステロールをLDL (低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール) に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる脂質代謝異常治療薬	スイスのロシュ社と日本・韓国を除く全世界の開発・商業化権を導出するライセンス契約を締結。(2004年10月)
JTT-130 (経口)	国内：Phase2 海外：Phase1	高脂血症	MTP (マイクロソームトリグリセリド転送蛋白) 阻害	MTPを阻害することにより、コレステロール及びトリグリセリドの吸収を抑制し、脂質値を低下させる高脂血症治療薬	
JTK-303 (経口)	国内：Phase1	抗HIV	インテグラーゼ阻害	HIV (ヒト免疫不全ウイルス) の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害するインテグラーゼ阻害剤	米国ギリアド・サイエンシズ社と日本を除く全世界の開発・商業化権を導出するライセンス契約を締結 (2005年3月)
JTT-302 (経口)	海外：Phase1	脂質代謝異常	CETP (コレステリルエステル転送蛋白) 阻害	HDL (高密度リポ蛋白：善玉コレステロール) 中のコレステロールをLDL (低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール) に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる脂質代謝異常治療薬	
JTT-305 (経口)	国内：Phase1	骨粗鬆症	CaSR (カルシウム感受容体) 拮抗	副甲状腺細胞のCaSRに作用し、血中Caの感知を阻害することで副甲状腺ホルモンの分泌を促し、骨の代謝回転を高めることにより骨形成を促進する骨粗鬆症治療薬	
JTT-551 (経口)	国内：Phase1	2型糖尿病	PTP1B (チロシン脱リン酸化酵素1B) 阻害	インスリンシグナル伝達を負に制御するPTP1Bを阻害することにより、インスリンの作用を増強し、血糖を低下させる糖尿病治療薬	

前回 (2006年2月9日) 公表時からの変更点：JTT-551の臨床入り